

ひろば・ちがさき

No. 762

2007年9月7日

市民会議・市民自治市議団

茅ヶ崎市茅ヶ崎1-1-1

市役所内 0467(82)1111

市民会議・市民自治市議団

中嶋 てるお

☎ 86-5643

須田 ゆずる

☎ 86-8788

岸 正明

☎ 87-8766

和田 清

☎ 67-5980

小磯 妙子

☎ 52-6731

障がい者・高齢者の権利擁護を！
障がい児教育の充実を！

市立病院の地域連携を強化を！

9月3日(月) 行われた第3回
定例市議会で、和田清議員が、
一般質問を行いました。

障がい者・高齢者の権利擁護

単身者や低所得者に対して、
後見人の申立てや契約費用の
市の補助を！

〔和田〕知的障がい・精神障がい・認
知症などの人たちを、詐欺行為や、
不当な介護から身を守るために必
要な、成年後見制度に関して、その
必要性を知ってもらうことも、必
要な人には、茅ヶ崎市より資金的
な支援をしてほしい。

〔市長〕現在、低所得で家族のいな
い人たちに対してのみ、経費を支援
しているが、低所得者に関する後
見人費用を、援助して行きたい。

〔成年後見センター(仮称)〕
設立へ支援を！

〔和田〕後見制度には、身上監護
(日常生活の介助)を捉え、生活全
般において、適正な支援を受けてい
るか監視する事)も含まれる。



現行制度では、後見人が、全てを
行う事は難しいし、その経費を当
事者が負担するのは難しい。地域
のボランティア等、民間との協同作
業が必要である。官民協同事業と
して、支援してほしい。

〔健康福祉部長〕地域のNPO法人
等との連携を進めるべく、役割り分
担等について検討したい。

市役所内部の担当課の連携と
資質向上を！

〔和田〕権利擁護支援の必要な人
たちは、問題が複雑化している。
職員専門性を向上させるとも
に、二つの課だけでなく、関係部署
が連携をとり一体として取り組ん
でほしい。

〔市長〕地域包括支援センターと
も連携し、対応に努力したい。

市立病院の地域連携について

地域医療連携室の充実を！

〔和田〕病気が完治せずに退院す
る患者さんにとって、退院後の転院
先や在宅生活に不安をいだく。

適切な相談指導や、関係機関との
連携は大切である。現状は、不十
分である。事業計画やアセスメント
(評価)をしっかり行い、より一層の
充実を図りたい。特に、担当者が
関係機関担当者との顔の見える関
係を構築してほしい。

特別支援教育の充実を

〔和田〕障がいを持つ子ども達の教
育は、その概念の変容とともに、多
くの個々に合った支援を必要とす
る多くの子ども達、ひいては全ての
子ども達に必要な支援として、そ
の必要性が強調されている。現状と
課題について問う。

〔教育長〕各小中学校に担当者を
置き、専門性の向上を図り、連携
をもつて対応に努力している。又、
臨時教員やふれあい補助員を加配
し、よりきめ細かな対応に努めてい
る。

更なる人材の支援を！

〔和田〕現状では、先生方の業務は
忙しいため、担当者がしつかりと支
援を行うには不十分である。人員
の補充をさらに求めたい。
〔教育長〕今後は、果も要望する
ところを、検討していきたい。

特別支援学級の増設を！

〔和田〕藤沢や平塚と比べると特別
支援学級の数が、とても少ない。障
がい児が、より近くの学校に通える
という意味でも、当該学級の増設
を検討してみたいはどうか？

〔教育長〕茅ヶ崎市は、「拠点校」
システムを取っている。現状の特別支
援学級が、各となり全ての小中学
校で、特別支援教育の推進を進め
ている。しかし、当該学級の数につ
いても検討していきたい。

市のホームページより、 障がい児教育の情報発信を！

〔和田〕茅ヶ崎市のホームページよ
り、「障害児教育」と入れて検索
すると、何も情報が出て来ない。

他市では、「障害児教育にはしつ
取り組んでいます。」とか、この相談
は、〇〇〇といった情報が、ヒット
する。障がい児を抱えた親にとって
就学は大きな問題であり、適正な
情報をいち早く取得出来ることは、
とても大切なことである。

茅ヶ崎においても、しつかりと適
正な情報がホームページからでも
取得出来るようにしてほしい。

茅ヶ崎市議会のホームページから、
議会の様子がインターネット配信
されています。是非、ご覧下さい。

